



豊里

令和もきらめく年末の風物詩

「豊里駅前冬の蛍通り点灯セレモニー&クリスマスパーティー」(同実行委員会、及川正彦実行委員長)が11月30日、陸前豊里駅前で開催されました。
点灯セレモニーでは、ヒップホップダンスやエレクトーン演奏が披露された後、LEDランプが点灯され、来場者から一斉に歓声が上がりました。サンタクロースが子どもたちにクリスマスプレゼントを配るなど、会場は一足早いクリスマスの雰囲気に包まれました。

いざというとき慌てぬように

米山支部婦人防火クラブ(畠山ひろみ会長)の「救急救命講習会」は12月7日、米山農村環境改善センターで開催され、会員22人が、救急救命処置を学びました。
講習会では、消防署南出張所の消防士がAEDの使用方法、心臓マッサージや応急手当の方法などを説明。緊急時やいざというとき慌てずに対応できるように、参加者全員で実演しました。参加者らは家庭でできる緊急時の対応方法について消防士に質問するなど、熱心に受講していました。



米山



石越

懐かしい顔ぶれと笑顔で再会

「第26回東京いしこし会総会・交流会」は11月30日、東京都台東区のグリーンパークで開催され、石越町出身者など61人が再会を喜びました。
交流会では、石越民謡同好会による民謡や会員による歌や踊りが披露。参加者は、地酒を味わいながら故郷の話に花を咲かせました。二階堂忠男会長は「多くの皆さんに参加いただき感謝しています。今後も若い会員を増やしていきたい」と次回の開催に向け、思いを新たにしました。

将来のために赤ちゃん抱っこ

「明日の親となる中学生の子育て理解講座」は11月27日、南方農村環境改善センターで開催され、南方中学校(千葉洋之校長、生徒218人)の3年生83人が参加しました。
講座は「命」「家族」「子育て」などの大切さを学ぶことが目的。実際に赤ちゃんを抱いたり、妊婦体験スーツを着て体の重さを体験したりしました。講座に協力した母親から、子育てや親になった時の気持ちなどの体験談を聞いた生徒たちは、妊婦の大変さや命の尊さを実感していました。



南方



津山

台風被害から早期復旧を願う

津山地域振興会、津山区長会、横山地区災害から人命財産を守る会が12月4日、宮城県庁で令和元年台風第19号による被害の早期復旧請願書を石川光次郎県議会議長へ提出しました。
請願書では、越水により床上浸水などの甚大な被害をもたらした南沢川・北沢川などの河川整備と、損壊した県道北上・津山線の整備を要望しました。請願書の内容は、第370回県議会で採択されました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

地域特性を知り災害に備える

東表行政区による「防火講習会および自主防災組織研修会」は12月4日、吐出生活改善センターで開催され、地域住民約40人が参加しました。
防火講習会では、火災の原因になる暖房器具を使う際の注意点などを消防署員が説明。自主防災組織研修会では、災害アドバイザーから東表地区の土地の標高や地域特性などを学びました。台風19号で、市内が甚大な被害を受けたこともあり、参加者は真剣なまなざしで受講していました。

地元の特産品を求めにぎわう

「とよま産業まつり」(同実行委員会主催、千葉正憲実行委員長)は12月1日、登米総合体育館前駐車場で開かれ、市内外から約4千人が訪れました。
当日は、産業まつりでお買い得な市内産の牛肉や豚肉、野菜、リンゴなどを販売。味くらべコーナーでは、市内産豚肉や登米産牛ステーキ、牛汁が振る舞われました。同時開催されたカップハーフマラソンの参加者も訪れ、各ブースには長蛇の列ができていました。



登米



東和

聖夜にきらめく星空のもとで

「冬休みクリスマスキャンプ」は12月25、26の両日、米川綱木親和会館で開催され、東和町の小学生やジュニアリーダーなど29人が参加しました。
キャンプでは、空気砲から出てくる空気の流れを観察した後、実際にペットボトルを使ったミニ空気砲作りに挑戦。夜には美しい星空のもと、キャンプファイヤーやダンス、レクリエーションゲームなどを楽しみ、豊かな自然環境の中で充実した時間を過ごしました。

みんなで楽しむクリスマス会

「宝カフェ・クリスマスパーティー」(宝江コミュニティ運営協議会主催、田島幹雄会長)は12月15日、宝江ふれあいセンターで開催され、児童ら約80人が参加しました。
マジックショーでは、パフォーマーじゃがりこ氏が本格的なマジックを披露。終始驚きの声が上がリ、会場は大盛り上がりとなりました。おいしいケーキを食べた後は、クリスマスプレゼントがもらえるビンゴ大会などが催され、子どもたちには笑顔があふれていました。



中田